

# 神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490  
 FAX (078) 361-4539  
 編集 「月報」編集委員 振替口座 01110-2-10517

## 今年の標語

「来てみませんか」と、誘える教会を目指そう。

## 努力目標

- ◎ 祈り合う交わり。
- ◎ 宣教協議会を開く。
- ◎ 教会ホームページとリーフレット作成。
- ◎ 地域との交流促進。

**聖語** 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい(ロマ 12:15)。

## 聖霊降臨日に向けて

～宣教の力を受けるために～

あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そしてエルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また地の果てに至るまで、わたしの証人となる。(使徒言行録1:8)

司祭 ミカエル 小南 晃

5月は、17日(木)昇天日、20日(日)教会記念日、そして27日(日)には聖霊降臨を迎えます。

これらの祝日や記念日に共通するものは「宣教」です。

冒頭の聖語は、復活の主イエスが、ご昇天の時に弟子たちに語られた言葉です。「聖霊が降って、力を受けると、あなたがたは地の果てまで、わたしの証人となる」と、聖霊の降臨を何よりも「宣教」のための力の付与として告げられています。また、当教会の記念日は、神戸昇天教会が102年前、この地に宣教拠点を据えた事を記念するものです。そして聖霊降臨日は、主イエス・キリストが約束されていたとおり、弟子たちに聖霊が降り、地の果てまで宣教を開始した事を覚えます。

そして今月の聖霊降臨日、5月27日の礼拝後、当教会の宣教協議会を開催する予定です。どうぞ皆さん、共に当教会の宣教と将来像を探って参りましょう。

### 使徒言行録の時代

さて、今、私たちの教会は、個々の教会においても、日本聖公会全体においても、宣教の低迷が危惧

されています。それに対し、使徒言行録に記された、復活の主イエスの「あなたがたは力を受ける…地の果てに至るまで、わたしの証人となる」という御言葉は、その言葉自体に力が溢れ、私たちの心を高揚させるような響きがあります。そして希望に胸を膨らまして、宣教のために世界に旅立って行く、使徒たちの雄姿を思い浮かべるのではないのでしょうか。

それを伝えているのが使徒言行録ですが、そこには主イエスの御言葉どおり、まずはペトロなどの使徒によって福音がエルサレムに宣べ伝えられ、続いてフィリポなどの働きによって、ユダヤとサマリアの全土にそれが広まり、そしてさらにその後、パウロなどの働きによって福音がギリシアからローマにまで宣教されて行く様が記されています。まさに順風満帆の宣教の業に見えます。

しかし実際はどうだったのでしょうか。エルサレムの宣教は、ペトロの逮捕や、使徒たちへの迫害の中で展開されたのでした。ユダヤとサマリアの全土への宣教は、ステファノの殉教に始まる迫害により、エルサレムから散らされていっ

た、フィリポや弟子たちによってなされたのでした。そしてパウロによるローマへの宣教の旅は、逮捕され、ローマ皇帝の法廷への出廷のための連行の旅でありました。

### 逆境における宣教

使徒言行録には、この世の常識から見れば、およそ順風満帆からはほど遠い状況の中で、その危機的状況が用いられながら、宣教が展開していく様が記されています。聖霊によって力を受けるとは、私たちのこの世的な知恵や力では量れない、神の導きと助けのもとに力を受けるということなのです。

そして人はその時にこそ、栄光を自分たちにではなく、神にのみ帰する事を学び、そこにある本当の喜びと平安へと導かれるのです。

今、宣教の低迷が危惧されている時代であると申しました。そうした時、まずは私たちが負っている危機的状況とは何なのか、どこに弱さがあるのかを見極めることが大切なのではないでしょうか。

危機的な状況がある場合、ともすればそれを「想定外」にしようとする心理が働きます。東日本大震災以来、露わになっている私たちの内に潜む「安全神話」です。まずは、私たちの置かれた危機的状況、逆境をしっかりと見据える事から始めたいと思います。

この時にあたって、私たちに豊かに聖霊が注がれますことを祈り求めたいと思います。

### 定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式  
 " 9時15分 教会学校  
 " 10時30分 聖餐式・説教  
 午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会  
 土 午前10時30分 教会掃除  
 (ご奉仕をお願いします)